

北大病院 来月から「遺伝子検査」

がんを
防ごう

北大病院が公表した遺伝子検査の料金は40万〜101万円です。西原広史特任教授(探索病理学)は「検査は高額ですが、自分のがんの性格を知り、最適な治療薬の選択肢が得られる可能性がある」。

秋田弘俊教授(腫瘍内科学)は「一般に抗がん剤は3〜4割の患者のがんが小さくなるが、全員に効くわけではありませぬ。(遺伝子検査で最適な治療薬を選べれば)薬が効かずに、副作用だけに苦しむ例を避けられます」と利点を説明します。

2万もあるヒトの遺伝子の中で、がんの発症や進展に関わる遺伝子は400以上。従来の検査は1回に1つの遺伝子しか調べられなかったの

保険適用外の薬も

北大病院のがん遺伝子検査は調べる遺伝子の数によって3種類あり、数が多いほど精度と料金が高くなります。遺伝子の数が少ない検査は北大病院内で解析し、2週間程度で診断結果が出ます。数が多い検査は、検体を米国に送るので4〜5週間かかります。患者は医師と相談し、治療薬を選ぶこととなります(表②)。

北大病院が公表した遺伝子検査の料金は40万〜101万円です。西原広史特任教授(探索病理学)は「検査は高額ですが、自分のがんの性格を知り、最適な治療薬の選択肢が得られる可能性がある」。

北大病院が公表した遺伝子検査の料金は40万〜101万円です。西原広史特任教授(探索病理学)は「検査は高額ですが、自分のがんの性格を知り、最適な治療薬の選択肢が得られる可能性がある」。

患者に合った薬選択

北大病院が4月から始める「がん遺伝子検査」。患者が持つがん関連のいくつもの遺伝子に生じた変化を一度に調べ、個々の患者に最適な治療薬を探す最先端の検査です。北大

は2日、新たな取り組みの詳細を東京で発表しました。どんな検査なのか、患者にどんな利点があるのでしょうか。

(編集委員 岩本進)

変化がある遺伝子	腺がんに占める割合	有効な抗がん剤(※は保険適用)
イージーエフアル EGFR	40〜50%	(※)ゲフィチニブ (※)エルロチニブ (※)アファチニブ
アルク ALK	5%	(※)クリゾチニブ (※)アレクチニブ
ハーツ HER2	2%	トラスツズマブ※1 ラパチニブ※2
レット RET	1%	治験中
ローズン ROS1	1%	治験中

表① 肺がん(腺がん)でも遺伝子の変化は患者によって違う…

※1 乳がん、胃がんには保険適用されている
※2 乳がんには保険適用されている

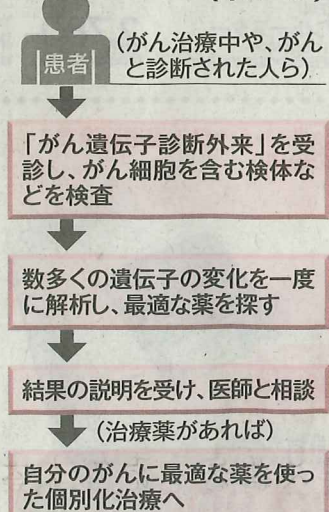
見つからない場合も

拠点病院と連携へ

北大はこの新たな医療を、道内のがん拠点病院と連携し全道に広げる構想です。北海道がんセンター(札幌)が早期の専門外来開設を目指しています。近藤啓史院長は「北大と手を取り合い、がんの個別化医療を進め、救える患者を増やしたい」と語ります。

北大は、同様の検査を実施する道外の実施設と連携を図る方針です。西原特任教授は「検査が普及し患者のデータが蓄積されれば、検査はもっと安く提供できます。検査後の患者を適切な治療に結びつけ、全ての治療に健康保険が使えるように働きかけたい」と話しています。

表② 「がん遺伝子検査」の流れ(イメージ)



国内は2病院のみ

北大病院が始める網羅的な遺伝子検査は、国内ではまだ始まったばかり。診療で提供しているのは、京都大と岡山大の2病院だけです。

北海道新聞は、がんから道民の命を守るキャンペーンに取り組んでいます